1955 ▷ 1964
昭和30年〜昭和39年

はじまり。夢が力だった。

協調体制が芽生え、業界が活発に動いた時代。
デザインに目覚め、美意識を追求し始める。

1955 ▷ 1964
昭和30年〜昭和39年

ナラ材利用木地の椅子

ナラ材小径木の高度利用
コッピングマシンの利用
ノックダウン構造

ノックダウン構造
スタッキング構造

成型合板の共通部品による生産合理化
ノックダウン構造

1965 ▷ 1974

昭和40年〜昭和49年

人に街に、希望の光満ちて。

技術面で高い評価を得、
全国に「産地旭川」が定着し、ブランドを確立。

1965 ▷ 1974
昭和40年〜昭和49年

ノックダウン構造
スタッキング構造

学童セット
成型合板

ダイニングセット
成型合板

局部積層成型

商品化

収納タンス
ユニット家具
ノックダウン構造

エゾマツ利用
木材着色の利用

部品の共通化による節減

軟体積木
パネル遊具

木製玩具の開発
<商品化>

1975 ▷ 1984
昭和50年〜昭和59年

踏み固めながら進んだ、大きな未来への道。

最高の材質と技術をたずさえて、
旭川から全国へ。そして世界へ。

1975 ▷ 1984
昭和50年〜昭和59年

未利用材の利用

ダイニングセット
拡張テーブル・スタッキングイス
<商品化>

輸出向け家具開発

ノックダウン構造
スタッキング構造

ステップチェア
<商品化>

ミニフィンガー構造
スタッキング構造
<商品化>

学習家具

<商品化>

木製玩具の開発

曲木椅子

住空間の有効利用
<商品化>

女性向け椅子の開発
組合わせ可能
<商品化>

２人だけのダイニング
拡張式
ミニフィンガーの三方接ぎ構造

<商品化>

箱床家具
水平収納
<商品化>

高低のある生活提案

和室空間の提案

ワンルーム用
リビング・ダイニングセット開発
ユニット工法によるカラマツ材室内ドア

1985 ▷ 1994
昭和60年〜平成６年

木と、生活を愛する人のために。

情報発信基地「木工のまち・旭川」。
産・学・官　一体となって、さらなる発展をめざす。

1985 ▷ 1994
昭和60年～平成６年

異素材の組合せ
木と土

棚・半円形天板の成型合板

組子技法を取り入れた小家具
（意匠登録）

高齢者用家具開発

ＦＲＰの利用による脚のスリム化

ＦＲＰのオーバーレイ成型合板
ＦＲＰによる外部構造

アルカリ可塑化による
曲げ木椅子

曲面組子を使用した照明器具

第１回国際家具デザインフェア
参考出品展示ブース

和のイメージをテーマにした製品開発
成型合板椅子
<商品化>

リバーシブルトレーの開発
ＣＡＤ／ＣＡＭ技術の利用
レーザー加飾

高齢者用家具開発
<商品化>

オフィス家具の開発
公共空間の木製化

ロビー空間の演出

デスク・テーブルウェアの開発

学校用家具の開発

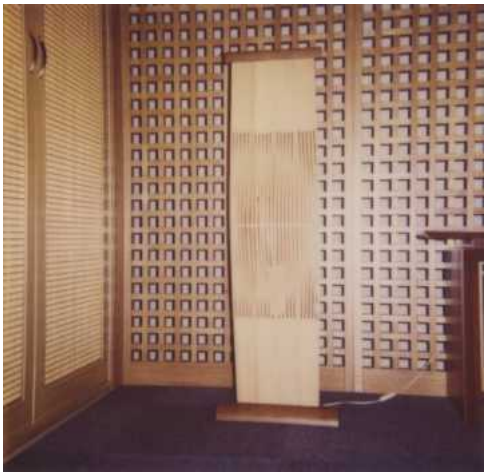
1995 ▷ 2004

平成７年〜平成16年

変わらないもの。熱きもの。

グローバル経済での生き残り戦略。
ハイエンド＆ベターゾーンの二極化を図り、
業界の再生へのステップアップ。

1995 ▷ 2004
平成７年〜平成16年



組子技法を取り入れたスタンド
（意匠登録）

接合断面を拡大した曲げ木椅子
曲面部材の加工技術

建築に付随する家具
書棚デスク

国際家具デザインフェア旭川’96 コンペ入選

昭和50年～昭和59年

台場火山灰青磁釉に関する研究

昭和60年～昭和63年

チタン結晶釉に関する研究

台場火山灰マット釉に関する研究

装飾技法の研究

耐熱食器の研究（土鍋）

鉄赤釉に関する研究

溶射技術の活用

産地原料の配合研究

異素材との組合せ

地元原料の配合研究

油滴天目釉に関する研究

機械ロクロによる学校給食用食器

高齢者用食器の開発